



世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪
ニュースレターVol. 51 (2024年3月発行)

「朽ちない栄光あるからだ」によみがえる希望

人類の救い主メシア（イエス）の復活を祝うイースター（復活祭）、誕生を祝うクリスマスよりも意義深いものとして全世界で祝われています。十字架に架かり死んで葬られたイエスが「朽ちない」からだによみがえったことを記念する時です。単に息を吹き返したというようなものではなく、朽ちないからだに「新しく創造（Re-Creation）」されたのです。イエスに従う私たちも、肉体は朽ち果てても、イエスと同様に「朽ちない栄光あるからだ」によみがえるという新しい創造への希望をいただいているのは何と幸いなことでしょう。 イースターおめでとうございます。 代表 神田英輔

生態系を大切にす農業サポートの働きに導かれて



世界中のあらゆる国から支援の手を差し伸べてもらった東日本大震災から13年。日本人の私が「声なき者の友」の輪の一員として、重大原発事故が起きた福島に関わったことは人生の大きな転機になりました。数年後、田畑から汚染された表土が取り除かれる光景を目にして衝撃を受けました。このとき初めて、表土は数百年の年月を経て滋養豊かにされると知りました。この深い意味を持つ光景が脳裏に焼き付いたのです。

2018年クリスマス間近、思い巡らしたことをこう記しました。「人間はつい最近まで、(地球の)大循環や生態系システムという全体を見る視点をすっぽり欠いていました。この大循環や生態系は人間の生活を支え、食欲にのめりこまない限り、繁栄を享受できるように神が整えられたにちがいないのに…。神にとって、この視点を一番持って欲しかったのは「神の民」だったことでしょうか。現実の複雑な社会から目をそらさず、神の視点で地球の大循環や生態系システムを謙虚に学び、祈り、関わるように示されていると思えました。」今まで考えもしなかった「被造物ケア」の働きが身近になったのです。この通信に、2019年春から神様が造られた自然界の生態系を大切にする農法に携わる友人夫妻を紹介しました。地球の「大循環」や「生態系」を考慮したライフスタイルを模索し、主に知恵を祈り求め、この思いの仲間と共に祈りと耕すことを一つにする歩みです。「この働きに関わりなさい」という私への招きは、コロナ禍の3年間、胎動期を過ごしていたかのようなようでした。そして今春、実家がある人口370万人都市の横浜を離れ、埼玉県郡部の人口1万人弱のときがわ町に移り住み、生態系を大切にする農業に取り組む友人夫妻の働きをサポートする小さな一歩を踏み出します。(カタリスト 柳沢美登里)

柳沢氏の導かれている「被造物ケア」について、私（陣内）が翻訳した『万物のいやし』という書籍が2020年に出版されています。キリスト教信仰をもつ獣医師として動物に向き合ってきた私も本書のメッセージには非常に共感を覚えました。Amazonのオンデマンドペーパーバック版で現在もお読みいただけます。「人間界だけでなく被造



物にも神の癒しの計画がある」ということを学ぶ上で、被造物ケアに関心のある日本のキリスト者にとって有益な書物ですので、個人の学びだけでなく教会の学び会や読書会のテキストとしてもお勧めです。是非手に取ってみてください。尚、柳沢氏の親友 Soohwan Park 氏が現在理事長を務める「A Rocha (ア・ロシヤ)」という被造物ケアに特化した国際的なクリスチャンの団体がありますが、まだ日本に支部はありません。「人新世」と言われる気候変動の時代、いつかこのような働きが日本でも展開されることを祈ります。(陣内)

困難な状況が続くアカコ村に光を届けるために ～クリスマス会を開催～

年末年始を挟み2月中旬までアカコ村を訪問しました。この数年情勢が不安定なエチオピアの物価は急上昇しており、通貨レートも5年で1USDが28ETBから56.8ETBと2倍に変動しています(2019年1月と2024年1月の比較)。村の子どもたちの生活や教育環境も悪化しています。昨年からはまった新都市開発によって多くの村人が住居を失い追いやられてしまったこと、親が仕事を求めるのが難しいこと、交通費が1年で倍になってしまったことにより首都までのバス通学が困難になってしまっているなど、様々な問題に陥っています。私達が取組むDream to Shine フリースクールは、そのような難しい状況にある子たちに教育の機会を提供しており、エチオピアのクリスマスである1月7日の週にはクリスマス祝会も学校で開催しました。生徒と両親を招いて軽食やケーキ、コーヒーを準備してお祝いをし、日本の皆さんが寄付として預けてくれた文房具をギフトにして約100名の子どもたちに届けました。一度も学校に通ったことのない子や人生で初めてプレゼントをもらったという子たちも多くいる中、1週間経っても喜びと感謝を伝えに来てくれる様子が印象的でした。皆さんからのご支援は、このような不安定な状況にある村の人々の希望の光になって、照らし続けていると感じています。彼らが希望を持って未来を描ける場となれるようにクラスを継続していきたいと願っていますので、引き続きお祈りとご支援をよろしくお願いたします。(カタリスト 湯本)



その他の活動(2023年12月~2024年2月)

東京武蔵野福音自由教会、弥生台キリスト教会、上目黒クリスマスコンサート、世界食料デー北千住子んさーと、聖契神学校、幡ヶ谷バプテスト教会、アライブ武蔵野御殿山(以上東京都)、東村山福音自由教会(埼玉県)、万座温泉ホテル日進館カルチャー講演会(群馬県)でFVIカタリストがセミナー、講演、報告等の奉仕させていただきました。共に労して下さった皆様に心より感謝いたします。

働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「FVI」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行の口座もご利用いただけますので、ご希望される方はお問い合わせください。(旧・三菱東京UFJ銀行の名称が変更されました。ご注意ください。)

* このニュースレターは、<http://www.karashi.net/>に掲載されています。希望された方にはemailによる配信または印刷物として郵送させていただきます。送付先、送付方法の変更、部数の追加、差し止めなど、以下の連絡先までお知らせください。

* 種資金による国際協力、カタリスト支援など、献金をお送りくださる場合は、同封の郵便振替用紙の通信欄に、献金先の国・地域名またはカタリスト名をご明記ください。

●「声なき者の友」の輪 事務局 email: info@karashi.net 090-3036-2776 (神田)